

厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)  
保健・医療サービス等における栄養ケアの基盤的研究  
分担研究報告書

**オーストラリアにおける栄養専門職の育成及び生涯教育に関する研究**

分担研究者 須永 美幸 聖徳大学 准教授  
協力研究者 五味 郁子 神奈川県立保健福祉大学 講師

**研究要旨**

【目的】 オーストラリアの栄養専門職は栄養士 dietitian のみであり、学士課程あるいは大学院修士課程において能力基準 (National Competency Standards for Entry-Level Dietitians) をベースとした養成が行われている。オーストラリアにおける栄養士の養成制度および生涯教育制度について資料・文献調査等により明らかにする。

【方法】 オーストラリア栄養士会 (Dietitians Association of Australia, DAA) のホームページ及び DAA 発行の公表資料を入手し、オーストラリアにおける栄養士養成制度および生涯教育制度について情報を整理した。

【結果】 ① [栄養士の認定] オーストラリアにおける栄養士の認定は、DAA が行っている。DAA が認定する栄養士養成コースを修了し、DAA 正会員となり、DAA の認定実践栄養士 (Accredited Practising Dietitian, APD) プログラムに参加する者がオーストラリア国内で栄養士として就業することが可能となり、現在 2,741 名が認められている。② [栄養士養成コース] オーストラリアにおける栄養士養成は高等教育に位置づけられる。DAA が認定する栄養士養成コースは 11 大学における学士課程 7 コース、大学院課程 9 コース、計 16 コースである。③ [専門実務研修] 学士コース、大学院コースともに 20 週間の専門実務研修 professional practice program の組み込みが必須とされている。内訳は、10 週以上の個別の栄養ケアをマネジメントする実務、4 週以上の地域や集団の健康・栄養活動、4 週以上の食品・栄養システムマネジメントである。④ [栄養士初級レベル能力基準] オーストラリアの栄養士は、学術的な専門知識に加えて専門能力の評価を重視している。1993 年に 8 ユニット 38 要素で構成される栄養士初級レベル能力基準 National Competency Standards for Entry - Level Dietitians が開発され、

栄養士養成コースのカリキュラム構築および認定、専門実務研修における学生評価、現職栄養士の能力評価等に一貫して活用されている。⑤〔APDプログラム〕栄養士の実務を高い水準で保持し、専門性を継続的に発展させることをねらいとして1994年にDAAはAPDプログラムを導入した。新卒の栄養士は条件付APD、遅くとも3年目にはFull APDに昇格し、上級レベルとしてAdv APD (Advanced APD)の格付けが行われる。なお、オーストラリアでは州別に栄養士のグレードによる給与が公表されている。⑥〔継続研修〕APDプログラムの主要プログラムがContinuous Professional Development, CPDである。APDの称号を保持するためには、年間30時間以上のCPD活動が必要となる。CPDの学習単位は7モジュールで構成され、個人の能力評価をもとに能力開発計画を作成し、実行していくプログラムである。CPD学習単位の一つに位置づけられるメンタリング mentoringは、新卒栄養士(条件付きAPD)と経験ある栄養士(Full APD)がパートナーシップを結び、専門職としての決断方法や継続研修の実施方法など実践的専門能力を高める過程である。

【結論】オーストラリアにおける栄養士養成は、高等教育に位置づけられ、栄養士専門能力の修得を重視していることが明らかとなった。オーストラリアの「能力基準」を標準とする栄養士の養成、栄養士・実践栄養士(APD)の認定、さらに生涯教育にわたる人材育成体制は、わが国においても参考に値すると考える。

## A. 研究目的

オーストラリアでは栄養専門職は栄養士 dietitian のみであり、学士課程あるいは大学院修士課程において養成が行われている。栄養士の国家試験はないものの、栄養士の初級レベルに要求される能力基準(National Competency Standards for Entry-Level Dietitians)が明示されており、知識や就業・実務年数よりも栄養士に必要とされる能力の評価が重視され

ている。そこで、本研究は、オーストラリアにおける栄養士初級レベル能力基準を活用した栄養士の養成制度および生涯教育制度について資料・文献調査等により明らかにする。

## B. 研究方法

オーストラリア栄養士会のホームページ及び公表されている既存資料を入手し、オーストラリアにおける栄養士の養成制度および生涯教育制度についての情

報を整理した。

栄養専門職の養成に関する調査項目は、オーストラリア栄養士会による栄養士認定制度、栄養士の業務とキャリア、栄養士養成コースの認定、栄養士初級レベルの能力基準（National Competency Standards for Entry-Level Dietitians）の活用、認定実践栄養士（Accredited Practising Dietitian, APD）、生涯教育の体制等：CPD（Continuing Professional Development）プログラムである。

## C. 研究結果

### 1. オーストラリア栄養士会（Dietitians Association of Australia, DAA）

DAA は 1976 年 Australian Association of Dietitian（非営利法人）として設立され、1983 年に栄養士のための全国職能団体として現在の Dietitians Association of Australia（DAA）となった（Australian company number: A.C.N. 008 521 480, Australian Business Number: ABN 38 008 521 480）。

栄養士は DAA 会員（正会員 member、学生会員、準会員）になることで、DAA が提供する情報、求人情報などを利用することができる。現在 3,374 名（2007 年 12 月時点）が会員となっている。

#### (1) 栄養士 Dietitian の資格

オーストラリアにおける栄養士の法的な登録制度はない。栄養士は DAA 会員に認定されていること、かつ DAA の APD（後述）の認定を受けることによって、オーストラリア国内で栄養士として

の職に従事することが可能となる。DAA による栄養士の専門的能力の開発の推進や栄養士の専門性のアピールが功を奏し、栄養士の職業および業務の社会的認知は確立していると言えるが、栄養士は国家資格ではない。

#### (2) DAA 会員資格および会員種別

オーストラリアにおける栄養士 dietitian の認定は、DAA によって行われており、栄養士は DAA 正会員であることが必須とされている。正会員はつぎの 3 パターンのいずれかに該当する：

- 1) 科学の学士を有し、DAA が認定する大学院修士課程あるいはグラジュエート・ディプローマ Graduate diploma 課程における nutrition & Dietetics コースの修了者
- 2) DAA が認定する学士課程における nutrition & Dietetics コースの卒業生
- 3) 海外で養成・訓練された栄養士で、DAA による試験の合格者

正会員は 2,741 名（2006 年）である。学生会員は DAA が認定する nutrition & Dietetics コースの在学学生であり、403 名、準会員は主に海外在住の栄養士であり、49 名認められている（2006 年）。

#### (3) DAA のビジョンおよびミッション

DAA は下記のようなビジョンおよびミッションを掲げている。

DAA のビジョン：

栄養のリーダー（Leader in nutrition）

DAA のミッション：

① DAA 会員のサポート

② 全ての人に、より良い食品、より良い健康、より良い暮らしの提唱

DAA の重点領域：

リーダーシップ、高水準の実務、コミュニケーションとマーケティング、マネジメントとクオリティ

## 2. 栄養士の業務とキャリア

### (1) 栄養士 Dietitian と栄養学者 Nutritionist

DAA は栄養士を国際栄養士連盟 (International Confederation of Dietetic Association, ICDA) で採択された定義にならない、健康増進、疾病の予防・治療のための栄養学的知識を有する科学者としている。また、Dietetics をコミュニティや個人の栄養を適正化することにより健康増進、疾病治療に寄与する専門性と定義している。

Nutritionist は栄養学の専門家を意味し、栄養士 Dietitian は Nutritionist とみなされる。しかし、栄養士 dietitian と栄養学者 Nutritionist の意味は完全に一致するわけではない。すなわち、栄養学者 Nutritionist は定義上、栄養学の知識を個別の栄養ケアに応用する能力を含まないため、Nutritionist を Dietitian と言い換えることはできない。

DAA は APD の資格認定に加えて、今般、認定栄養学者 (The Accredited Nutritionist, AN) の認定を始めた。該当するのは地域公衆栄養に携わる栄養士、

あるいは栄養士の資格を持たない栄養学の専門的知識を有する者であり、個々人の栄養相談や臨床栄養を実務とする栄養士は AN には含まれない。

### (2) 職域

オーストラリアにおける栄養士の主な職域は、患者ケア、公衆栄養・栄養教育、フードサービス・マネジメント、コンサルタント、食品企業、教育研究である (図 1)。

約半数の栄養士 (約 40% が公的病院、7-8% が民間病院) が病院でヘルスケア・チームの一員として、患者の栄養状態のアセスメントを行い、個別に適切な食事プランを作成し、患者や家族に栄養教育を行っている。ナーシングホームの高齢者ケアに従事する栄養士は数%とわずかである。

約 2 割の栄養士は、開業して個人・集団あるいは組織を対象に個人相談・集団プログラム・健康対策プログラム・栄養教育などのコンサルタントサービスを提供している。約 1 割の栄養士は、地域 (コミュニティ) のヘルスセンターにおいて広く健康・栄養教育を行っている。

約 5% の栄養士は食品企業において食品法、食品の安全性や質の管理システム、消費者教育、健康専門職教育、栄養学研究、商品開発、マーケティングなどに従事している。約 5% の栄養士が教育研究活動、約 5% が行政、数% がナーシングホームである。

### (3) 栄養士の給与、提供サービスの評価額

オーストラリア国内の栄養士は、栄養士のグレード、経験年数による給与基準が州別で示されている（表1）。首都特別地域（ACT）の新卒栄養士の年収は50,287A \$（約500万円）と他の州より高額であり、ニューサウスウェールズ州の新卒では45,827A \$（約450万円）である。

オーストラリアの公的医療制度メディケアでは公立病院における診療、治療費は無料であり、栄養士が提供するサービスも治療費に含まれる。一方、開業栄養士あるいは民間病院における栄養士が提供するサービスの請求額については、DAAが調査を行い、州にサービス内容および時間単位の集計結果を示している。首都特別地域（ACT）における初回相談は30分以内で67A \$（50-110A \$）、40-60分で80A \$（30-150A \$）、継続支援は20分以内で40A \$（20-70A \$）、20-30分で45A \$（30-75A \$）、民間病院の時給80A \$（40-110A \$）、電話相談55A \$（0-125A \$）、Eメール相談20A \$（0-95A \$）等である。他の6州においても、ほぼ同様の評価額である。

### 3. 栄養士養成コース

オーストラリア国内の栄養士養成コースは、11大学における学士課程7コースと修士課程7コース、グラジュエート・ディプロマ Graduate diploma 課程2コース、計16コースがDAAによって認定されている（表2）。

#### (1) コース認定

コース認定はDAAの認定アドバイザー委員会（The Dietetics Standards and Accreditation Advisory Committee, DSAAC）が栄養士養成プログラム認定マニュアル（DAA Manual for Accreditation of Dietetic Education Programs）に基づいて査定を行っている。

認定のプロセスは、①大学がDAAに教員スタッフ、図書館、カリキュラム、定員数、専門実務研修プラン等を提出し、1期生が修了・卒業するまでの期間の条件付認定を得る、②1期生の修了・卒業後24ヶ月以内に認定報告書をDSAACに提出し、DSAACによる直接訪問を受け、基準を満たすことが確認されると認定となる。③認定を受けた大学は、5年毎に報告書を提出し、DSAACによる現場訪問を受ける。認定基準を満たさないコースは、認定を取り消される場合もある。コース認定では、プログラムの構造とマネジメント、教員スタッフのレベルと資格、教室・研究施設の整備状況、支援体制、学生の評価方法、専門実務研修の組織化が重点的に審査を受ける。

認定を受けようとする大学は、申請・再申請の度に認定費用10,000A \$（約100万円）をDAAに支払う。

養成カリキュラムの構成は、栄養士初級レベル能力基準（National Competency Standards for Entry-Level Dietitians）に従い構築される。

## (2) 養成施設のカリキュラム

栄養士養成コースには、学士課程、修士課程、ポストグラジュエート課程があり、いずれもフルタイムコースである。大学院コースは科学学士を有することが入学条件となることから、学士課程コースと大学院コースでは講義履修科目数が異なるが、いずれのコースにおいても20週間の専門実務研修が含まれる。

### ①学士課程コース

4年制のコースであり、通常1年次には化学、人体生理学、統計学などの基礎科目を履修する。2年次には人間栄養学、生化学、食品化学、食物・栄養学の今日的課題、エネルギーと代謝の生化学、食事と身体活動の測定とアセスメント、病態生理学、健康施策、人材管理などの専門科目（講義）を履修する。3年次には公衆栄養学、栄養と代謝の履修に加えて、人間栄養学の研究について取り組み、また病態生理学や栄養・食品のイノベーション、アボリジニー（先住民）の栄養問題についても学習する。4年次にはヘルスケアにおけるコミュニケーション演習、栄養食事療法、給食経営管理について履修する。

### ②修士課程コース

修士課程コースは、科学の学士を有することが入学条件となる。第1 Semester は、食品化学、栄養化学、栄養アセスメントと食事摂取、フードサービス・マネジメントの講義および実習を行う。第2 Semester では、臨床栄養管理、コミ

ュニケーション論を履修し、また、スーパーバイザーの監督下での栄養研究へのプロジェクトに取り組む。

### ③ポストグラジュエート課程コース (postgraduate degree)

第1 Semester では、栄養カウンセリング論、フードサービス、栄養食事療法などの専門科目について学習する。第2 Semester は臨床・コミュニティにおける専門実務研修を行う。

## (3) 専門実務研修（臨地実習）

学士課程、修士課程ともに20週間の専門実務研修 professional practice program が義務付けられている。このうち個別の栄養ケアをマネジメントする実務研修 (A) を10週間、地域や集団における健康・栄養活動の実務研修 (B) を4週間、フードシステムにおける実務研修 (C) を4週間、残り2週間は学生の興味や能力に応じてA、B、Cの追加研修あるいは開業栄養士の分野などを選択して研修を行う（表3）。個別の栄養ケア・マネジメントを研修するAでは、10週間のうち4週間は常勤栄養士が2名以上雇用されている病院（臨床現場）で研修を受けなければならない。

専門実務研修における学生評価は、栄養士初級レベル能力基準（National Competency Standards for Entry-Level Dietitians）の項目および基準に従って各現場の栄養士が行う。研修監督者であるスーパーバイザーは、APD（後述、DAAの認定実践栄養士）で、該当領域

における2年以上の経験を有するものでなければならない。養成コースの教員で専門実務研修をコーディネートする者もAPDでなければならない。スーパーバイザーのサポートを担うこともある。

(4) 養成コースのカリキュラム：コア科目  
カリキュラム開発のガイドラインに示されるコア科目は、後述の栄養士初級レベルの能力基準（National Competency Standards for Entry-Level Dietitians）のユニット1（基礎知識）に相当するものである。コア科目は、人間栄養学、社会と食品、食品科学、フードサービス・システム、教育論、カウンセリング・コミュニケーション論、組織マネジメント論、公衆栄養、栄養調査と評価を骨格として構成されている。

○人間栄養学：栄養素の機能（栄養素等必要量／欠乏症と過剰症／栄養素の含まれる食品）／非栄養素の機能／栄養の身体活動やwell-beingへの影響／さまざまな集団の栄養必要量・リスク集団の栄養問題／GIT・心臓・腎臓・肺・免疫・排泄の身体機能／栄養に関連する主な疾患／疾患の生化学・生理学的指標／栄養素と薬剤の相互作用／栄養アセスメント法／食事摂取量・食習慣の調査法／身体計測法と評価／栄養状態の臨床診査・栄養疾患の分類と定義／生化学検査値の影響因子／栄養摂取量と質の評価方法

○社会と食品：食品・食事に影響する社会特性／食糧供給の生態学的問題／ライフスタイルに影響する環境・社会心理学

的要因／民族・文化的集団と食習慣／健康への態度に影響する要因／食品流通・分配・消費／食品の歴史と未来など

○食品科学：食品中の添加物と栄養素／サービングサイズ、調理法／食品技術（加工と包装）／食品衛生／特別用途食品／機能性食品／成分表示と強調表示／食品制度

○フードサービス・システム：フードサービス論／調理器具／メニュー計画・献立標準化／大量調理学／大量調理用器具の使用法など

○教育論－栄養食事療法の応用－：学習理論／栄養教育論／援助関係の特徴／集団教育技術

○カウンセリング、行動科学を用いたコミュニケーション論：行動変容理論／コミュニケーション論／人間の行動と社会学／コミュニケーションのプロセス、モデル、強化／個人カウンセリング論／自己評価法／インタビュー演習

○組織マネジメント論：グループダイナミクス／組織構造と規範／労使関係／ストラテジー計画論／ビジネスプランと金融プラン／品質管理／リーダーシップ／アウトカム評価、ベンチマーキング／人材管理／法律行為／栄養士会のガイドライン／会議演習／専門職としての態度、倫理

○健康増進、公衆栄養学：公衆栄養の定義、歴史、理論／オーストラリア連邦・各州の栄養施策／WHOと国際健康栄養

施策／地域におけるニードアセスメント  
／途上国の健康栄養／オーストラリアの  
栄養問題／健康増進活動論／プログラム  
マネジメント／有用なヘルスサービスの  
課題と利便性など

○栄養調査と評価：臨床試験の倫理／研  
究デザインとデータ管理／データの統計  
解析／量的・質的調査法／科学的根拠に  
基づいた実践／論文の批判的評価／サン  
プリング法

#### (5) オーストラリアにおける他の医療 専門職養成

オーストラリアにおける学士は、専門  
領域によって就学年数が異なる。一般  
的な学科は3年制、教育学、工学、法  
学は4年制、歯学、獣医学、建築学は5  
年制、医学は6年制である。以下に医  
師、看護師・助産師、作業療法士、理学  
療法士、言語聴覚士の教育レベル、職能  
団体および認定・登録制度について報告  
する。

##### ①医師

医師の教育は、6年制の学士に追加し  
て、1年間の臨床研修が必須とされて  
いる。オーストラリア医師会 Australian  
Medical Association (AMA) の各州支部  
に医師資格の登録を毎年行うことが必須  
である。

##### ②看護師・助産師

看護師ならびに助産師の資格のため  
の教育レベルは3年～3年半の学士以  
上である。オーストラリアにある計39

大学のうち31大学に看護コースが設置  
されている。オーストラリア看護・助  
産協会 Australian Nursing & Midwifery  
Council (ANMC) の各州支部への登録が  
必須である。関連する職種として準看護  
師 Enrolled Nurse がある。

##### ③作業療法士、理学療法士、言語聴覚士

作業療法士、理学療法士、言語聴覚  
士の教育レベルはいずれも学士以上で  
ある。作業療法士は、作業療法士登録  
協会 Council of Occupational Therapists  
Registration Board (COTRB) の各州  
支部での登録あるいは免許が必須であ  
る。理学療法士も、オーストラリア理  
学療法士会 Australian Physiotherapy  
Council の各州支部における登録が必須  
である。一方、言語聴覚士は、クイーン  
ズランド州ではオーストラリア言語聴  
覚士会 Speech Pathology Association of  
Australia (SPAA) の州支部への登録が必  
須であるが、その他の州では登録制度は  
ない。

#### 4. 栄養士初級レベルの能力基準

National Competency Standards for  
Entry-Level Dietitians

##### (1) 作成の経緯

1980年代後半にオーストラリア標準  
化構想の流れを受け、連邦政府のイニシ  
アティブによって各専門職の標準能力が  
明確化された。これ以降、専門職の高等  
教育では標準能力に基づいたアセスメン  
トが行われている。



栄養士の標準能力は、全国海外資格者認定局（the National Office of Overseas Skills Recognition, NOOSR）の基金によりDAAの5年間の研究プロジェクトを経て、1993年、初級レベル能力基準（National Competency Standards for Entry-Level Dietitians）として明示された。草案は、広範な専門業務の機能分析をふまえて作成され、25名の新卒栄養士が遭遇した緊急事態（インシデント）のインタビューによって草案の妥当性を検討するという独特の方法で作成された。

1998年に初級レベル能力基準は見直しが行われ、公衆栄養、企業、開業（private practice）、スポーツ栄養の新領域に適應した内容の追加と、マネジメントおよび品質改善活動の部分が強化された。

## (2) 特徴および使用目的

栄養士初級レベル能力基準は、単に知識や学術的に費やした時間ではなく、栄養士に必要な技術能力を評価するものである。栄養士初級レベル能力基準の使用目的は次に示すもので、オーストラリアの栄養士の養成ならびに現職栄養士の生涯教育の全般に用いられている。

- ・DAAによる大学・大学院における栄養士養成コースの認可
- ・オーストラリア国外の栄養士で、オーストラリアでの実務を望む者の評価
- ・栄養士養成コースにおける、学生の専門実務研修の評価
- ・現職栄養士の継続的な専門能力開発の

必要性の評価

- ・栄養士の役割と責務についての他への説明

## (3) 栄養士初級レベル能力基準の構成

栄養士初級レベル能力基準は、臨床におけるケース・マネジメント、地域栄養、フードサービスの各領域の初級レベルの実務が8ユニットで構成されている。ユニット1、7、8は基礎能力として、基礎知識（ユニット1）、科学的アプローチ（ユニット7）、専門職としての態度（ユニット8）に関する能力を示す。ユニット2ならびに3は栄養士の基本となる能力としての技術能力を示す。ユニット4、5、6はケース・マネジメント、地域栄養、食糧供給における実践的な能力基準を示す。

各ユニットは、要素 Elements として中項目化され、さらに要素ごとに動詞で示される具体的な実務がパフォーマンス基準として示されている。

ユニット1：基本知識

安全な実務を果たすのに十分な知識

ユニット2：栄養情報の解釈と伝達

栄養に関連する科学的知識、理論、政策を実際的な方法として伝える

ユニット3：栄養データの収集、分析、評価

個別・集団の栄養状態のデータを収集し、系統的に捉え、評価する

ユニット4：ケース・マネジメント

個人の栄養ケアのマネジメント

ユニット5：地域栄養

健康増進における栄養学的視点によるマネジメント

ユニット6：食糧供給への関与

安全で栄養的な食糧供給の推進活動

ユニット7：科学的アプローチ

調査研究と評価における基礎技術

ユニット8：組織における専門性

職務に対する組織的、専門職的、倫理的アプローチ

5. 認定実践栄養士 (Accredited Practising Dietitian : APD)

#### (1) APD プログラムおよび称号認定

DAA は、正会員である栄養士に対して APD プログラムに参加することを義務付けている。APD の称号は、栄養士の資格を有し、かつ継続的に専門職としての能力を訓練し、標準的な実務を担うことを承認するものである。APD の称号の認定は DAA が行っているが、実質、オーストラリアにおける栄養士認定の国家制度 national system と捉えられている。例として、消費者や栄養士の雇用者等は、APD の称号をもとに、その栄養士が栄養管理の専門実務者であることを確認している。APD プログラムおよび称号認定は 1994 年より行われている。

APD には熟練度によって次の 3 グレードがある：①条件付き APD (Provisional APD)、② APD (Full APD)、③上級 APD (Advanced APD and Fellow)。2006 年、DAA の正会員 2,741 名 (非就労者 331 名を含む) のうち 2,460 名 (89.7%)

が APD の称号を得ている。

#### (2) 条件付き APD、Full APD、上級 APD (Advanced APD)

条件付き APD は、APD プログラムに参加して 1 年目の栄養士である。すなわち、栄養士養成コースを修了して 1 年目であり、初級レベルの栄養士の能力は認められているが、経験が未熟な栄養士を示す。Full APD の栄養士とパートナーシップを結び、最低 26 週間のメンタリング (mentoring) において経験に基づく問題解決のテクニックや栄養士としての決断方法や生涯教育の実際等を修得する。条件付き APD から APD への申請は、メンタリングの指導を行った Full APD の報告書を提出書類に含めて、遅くとも 2 年以内に行わなければならない。

上級 APD は高度な知識とスキルを有し、専門領域におけるリーダーの役割を担い、教育指導を行う Full APD の栄養士に認定される。

#### (3) APD プログラムの移行措置 (代替方法)

APD プログラムは 1994 年から実施されたため、DAA はその時点で既に栄養士としての十分な経験を有する者 (Potential APD, 仮 APD) に対して移行措置を設けた。栄養士会法 (By-Law) を改正し、次の条件を全て満たす場合、Full APD の称号を認定することとした。

##### ① DAA の正会員

- DAA 認定の養成プログラムの修士  
あるいは学士
- 海外で養成・訓練された栄養士の場合  
DAA の試験合格者
- ②栄養士としての5年以上の実務経験
- ③最新過去5年間のオーストラリアに  
おける栄養士としての実務が4,500  
時間以上
- 役職・主な業務・時間 (position/  
key task/time) のリストを作成し、栄  
養士初級レベル能力基準 (National  
Competency Standards for Entry-Level  
Dietitians) との照合を行う。

## 6. 生涯教育 (Continuing Professional Development, CPD プログラム)

### (1) CPD プログラムの概要

CPD プログラムは、専門職としての能力を強化、維持することを目的として、栄養士個人が自身のために計画して行う学習プログラムである。年間30時間以上のCPD活動を満たさなければ、前項のAPDの称号は取り下げられることがある。CPD活動は、栄養士個人がDAA会員ウェブサイトにおいてログを記録する。DAAは会員のCPD活動の実施状況を、このウェブサイト上のログを利用して無作為に審査している。

CPDプログラムは、個人の能力の評価に基づいて計画されるため、CPDプログラムの内容は個人によって様々である。DAAのAPDマニュアルには、継続的な専門性開発の計画の立て方 (Developing

Your Continuing Professional Development Personal Plan) について解説している。その手順は、①自分の実務についてよく考える、②自分に必要な学習内容をアセスメントする、③学習のゴールを設定し、その達成方法を考える、④CPD計画に基づいて、CPD活動に取り組む、⑤CPD活動のアウトカムを評価する、という5ステップのサイクルで示されている。

### (2) CPD の単位 (CPD module)

CPDのための活動は次の7単位に分類されている。APDプログラムに参加する栄養士は、年間30時間以上のCPD活動が義務づけられているが、各単位における達成すべき活動時間の基準が設定されているわけではない。

- ①学会、研修会、協議会への参加  
Conferences, workshops, seminars, short courses, and interest groups
- ②栄養士の実務に直接関連しない分野における、正式な教育プログラムでの研鑽  
External study programs
- ③自己学習活動 Self-study activities
- ④雇用者の指示による活動 Employer provided activities
- ⑤教育・研究活動 Teaching and research activities
- ⑥質の管理 Quality management
- ⑦メンタリング Mentoring

### (3) メンタリング (Mentoring)

初級レベルの栄養士は、DAAの会員になると同時に、条件付きAPD

(provisional APD) として APD プログラムに参加する。最長 2 年以内に APD (full APD) に昇格しなければならないが、APD の申請ではメンタリングの報告書が必要となる。

「Mentor」は良き相談相手、指導者・先輩を意味し、「Mentee」が指導を受ける者をいう。条件付き APD は Mentee、条件付き APD が任意で選出した APD を Mentor として、両者はパートナーシップを結ぶ。最低 26 週間のメンタリングを通して、新米の条件付き APD が APD の経験に基づく問題解決のテクニックや決断方法、結果の解釈方法、CPD 活動の実施方法、あらゆる場面でのコミュニケーション法など初級レベル能力基準に示される内容を超えた栄養専門職の実務に関わることを学ぶシステムである。

また、後輩の教育指導に相当するメンタリングが、APD の CPD 活動として評価される。すなわち自分の経験に基づく教育指導が、APD 自身の能力向上に寄与するとみなされている。

#### D. 考察

以上の結果より、オーストラリアではオーストラリア栄養士会 DAA が一貫して、栄養士養成コースの認定、栄養士初級レベル能力基準 (National Competency Standards for Entry-Level Dietitians) の開発、栄養士および実践栄養士 (APD) の認定、生涯教育の推進を行っていることが明らかとなった。

オーストラリア栄養士会 DAA は設立して 30 年目にあり、オーストラリアにおける栄養士の歴史は他国に比べて浅い。そのなかで DAA はオーストラリア国内の栄養士の人材 (人数) 確保を急務とせず、栄養士としての専門能力の質の確保を重点課題としてきたと言える。現在、オーストラリアには 11 大学で 16 コースの栄養士養成コースが認定されており、毎年約 200 名の栄養士養成コース修了者が DAA 会員すなわち栄養士となる。コースの半数以上は大学院に設置され、修士号を有する栄養士が増大してきている。

さらに、栄養士の専門性を知識や修業年数ではなく、実務能力で説明しようとしている。その背景には、栄養士をはじめその他の医療職が国家資格ではない点が挙げられる。すなわち、国に守られた資格ではないため、常にその専門能力を向上させ、専門性を確立し、対外的にアピールすることが求められてきたと考えられる。栄養士の実践活動は、初級レベルの能力基準 (National Competency Standards for Entry-Level Dietitians) を開発し、実践栄養士の認定 (Accredited Practising Dietitian : APD) を行うことで公的にその専門性を認められている。

わが国の管理栄養士とオーストラリアの栄養士を比較して異なる点は、第一に実務能力を評価する点であり、第二に栄養士の専門性の達成目標を、養成と実践業務で区別せず、基礎知識から高度なマ

ネジメントまでの広範囲な実務能力として文書化した点である。能力基準のユニット 8 では組織的、専門的、倫理的アプローチ能力として、初級レベルであっても「組織内で効果的に働く」「優秀な実務によって信頼ある専門的役割を維持・向上させる」「専門的実務の全てに品質管理を適用する」「健康・疾患に対する栄養・食事療法の寄与を促進する専門的なリーダーシップを証明する」という高度な能力が必要とされていることを示している。これらの能力を修得させることを教育目標とした講義や演習、実習が養成プログラムに組み込まれている。一方、現職の栄養士にとっても、能力基準を実践活動のパフォーマンス目標として自己の能力評価に利用することができている。

オーストラリアの栄養士養成コースにおける専門実務研修は、20 週間すなわち 800 時間に相当する。このうち最低 10 週間（400 時間）が個別の栄養ケア・マネジメントの実務であり、個人の栄養管理の手法の修得が重視され、これには臨床領域での栄養士のニーズが高く、病院勤務が約半数を占めていることも影響している。

実践栄養士（APD）は、DAA の認定資格であるが、栄養士 dietitian という標記より APD が公的に重要な情報として取り扱われるほど、社会的に認知されている。またオーストラリアでは、栄養士のグレードと経験年数によって給与

が明示されている。このような栄養士の格付けは、消費者や雇用者に対して専門能力のレベルを示す対外的な目的を持つと同時に、能力のレベルがメンタリング（Mentoring）制度を通して人材育成ならびに自己研鑽を促すことに貢献している。

オーストラリアの栄養士養成にはインターンシップは位置づけられていないが、栄養士初級レベル能力基準を用いた 20 週（800 時間）の専門実務研修、ならびに 26 週以上のメンタリング（Mentoring）によって専門職としての高度な実務能力を育成している。さらに、栄養士全員に対して継続研修（APD プログラムおよび CPD プログラム）を義務付けていることから栄養士一人ひとりの、また栄養士としての継続的な品質改善活動が行われていることが明らかとなった。

## E. 結論

オーストラリアでは専門職の標準化構想を背景に栄養士の実務能力を「能力基準」として文書化し、社会のニーズに即した見直しと強化を行いながら、栄養士の養成、栄養士・実践栄養士（APD）の認定、さらに生涯教育の体制に活用し、人材育成を推進している。オーストラリアの能力基準を標準とする人材育成体制は、わが国においても参考に値すると考えられる。

## 参考文献

- 1) Dietitians Association of Australia :DAA Website  
<http://www.daa.asn.au/>
- 2) AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY CORPORATIONS LAW, A COMPANY LIMITED BY GUARANTEE: CONSTITUTION OF THE DIETITIANS ASSOCIATION OF AUSTRALIA. 2006 A.C.N.008 521 480, A.B.N.34 008 521 480
- 3) DAA Manual for Accreditation of Dietetic Education Programs. Reviewed 2007. Dietetic Association of Australia. A.B.N 34 008 521 480
- 4) Continuing professional Development Program – A Guide for Accredited Practising Dietitians. Revised February 2005. Dietitians Association of Australia A.B.N 34 008 521 480
- 5) National Competency Standards for Entry-Level Dietitians  
<http://www.daa.asn.au/index.asp?PageID=2145833488>
- 6) Guidelines for Mentoring. Revised February 2002. DAA/Website/2002/APD/Mentoring Guide/
- 7) Dietitians Association of Australia DAA Annual Report 2006. A.C.N.088 521 480, A.B.N.008 521 480
- 8) DIETITIANS ASSOCIATION OF AUSTRALIA By-laws. Code of Professional Conduct (May 2006) , Complaints and Disciplinary Procedures (May 2006) , Membership Application Procedures (August

2006) , Accredited Practising Dietitian (August 2007) , Procedure for Election of President (August 2001) , Branches (August 2007) , Procedure for Election of a Branch Executive (May 2007) , Procedure for Operation of Committees of the Board (August 2001) , Procedure for the Operation of Interest Groups (May 2006) , Consultancy Services Provided by Directors of the Board (July 2002) , Statement of Ethical Practice (May 2006)

- 9) DAA General Policy and Procedure manual.  
<http://www.daa.asn.au/index.asp?pageID=2145838213>  
(DAA 会員専用ページ)

## F. 健康危険情報

該当なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

該当なし

### 2. 学会発表

1) 五味郁子：オーストラリアにおける栄養専門職の養成・生涯教育およびこれらの教育制度について。諸外国の栄養専門職の養成・生涯教育及びこれらの教育制度について（座長 須永美幸）。日本健康・栄養システム学会第7回分科会総会、2008。

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表1 オーストラリアにおける栄養士の州・グレード別給与

Dietitian Salary Scales – Government (Annual) in States and Territories – June 2006

Level or Grade	ACT and Commonwealth	Northern Territory	New South Wales	Queensland	South Australia	Victoria*	Western Australia	Tasmania
Dietitian				(PO2)				
I 1st Year	\$50287 (new graduate)	45 038	45,827	43,793	40,626	G1Y1 39041.60		38 985
2nd Year	\$52,969					G1Y2 40539.20		
3rd Year	\$54,518					G1Y3 43882.80		
4th Year	\$56,135					G1Y4 46618.00		
5th Year	\$57,649					G1Y5 49805.60		
6th Year +	\$59,272	53 654	61,984	56,392	51,874	G1Y6 52956.80		49 334 (L1.5)
7th Year	\$61,110	55 560	63,986			G1Y7+ 54376.4		
			(Base Grade)					
				(PO3)				
II 1st Year	\$62,918	57 605	68,822	59,298	55,298	G2Y1 55021.20		51 977
2nd Year+	\$64,462	59 653	71,125	61,153	57,413	G2Y2 56820.40		54 620
3rd Year +	\$66,387	61 698	(Grade 1)	63,016	59,679	G2Y3 58609.20		57 261
4th Year +	\$68,465	63 754		64,868	61,944	G2Y4+ 62140.00		62 549 (L2.5)
5th Year +	\$69,763							
				(PO4)				
III 1st Year	\$72,695	72 725	73,112	69,142	64,060	G3Y1 63835.20		59 909
2nd Year+	\$78,381	75 314	75,098	70,955	66,024	G3Y2 66060.80		62 549
4th Year+		76 617	(Grade 2)	72,766	67,989	G3Y3 68224.00		68 717 (L3.5 by qual)
				74,584		G3Y4+ 73798.40		
				(PO5)				
IV 1st Year	\$85,893	79 319	77,178	78,054	70,714	G4Y1 74708.40	Level 4/6	68 717
2nd Year	\$90,333	83 690	79,825	79,966	72,775	G4Y2 77287.60	4/6.1 45,483	72 242
3rd Year+	\$96,963	88 613	(Grade 3)	81,879	74,730	G4Y3 79882.40	4/6.2 48,188	74 002
4th Year				83,878	76,759	G4Y4 82482.40	4/6.3 51,238	76 002 (L4.4 by qual)
						G4Y5+ 88628.80	4/6.4 54,148	
						G4B 93017.60	4/6.5 58,593	
							4/6.6 63,852	
				(PO5)				
V 1st Year			82,212	78,054	79,691		Level 6	84 002
2nd Year			84,318	79,966	81,269		6.1 58,593	92 814 (L5.4 - inc's dep on posn)
			(Grade 4)	81,879			6.2 60,763	
				83,878			6.3 63,852	
V							Level 7	99 861
							7.1 65,502	
							7.2 67,594	
							7.3 69,761	
							Level 8	
							8.1 72,929	
							8.2 75,525	
Dietary Aides								
16ye								
Adult Min	38824+ penalties		36,140					32,056
Max	40786 + penalties		37,700					32,777
Diet Supervisor								
Min								40,156
Max			42,658					43,490

Branches have advised the following contacts to obtain further information on salary scales:

ACT ACT Health Human Resources, telephone (02) 6205 1479

NSW Health Professional and Medical Salaries (State) Award, Office of Industrial Relations NSW, (02) 131 628

NT Professional Officer Award - Dietitian, Ron Hoskings, Manager, Employee Relations, PO Box 40596, Casuarina NT 0810, telephone (08) 8939 4166

Qld Health Sector Award – Professional Stream, Human Resource Business Centre - Queensland Health, telephone (07) 3234 0829

SA Office of Public Employment, 200 Victoria Square, Adelaide, SA 5000, telephone (08) 8226 2941

Tas Community Health Services Public Sector Award, Human Resources, c/- Royal Hobart Hospital, GPO Box 1061L, Hobart TAS 7000

Vic Medical Scientists Association of Victoria, telephone (03) 9623 9623

WA Hospital Salaries Office Award, 8 Coolgardie Terrace, Perth WA 6000, telephone (09) 328 5155

\* A 3 per cent increase is due in October 2006

表2 オーストラリアにおける DAA 認定の栄養士養成コース

	大学名	州	コース	大学院	学部
1	Charls Sturt University チャールズ・スタート大学	NSW	Bachelor of Health Science (Nutr & Dietetics)		4年
2	Curtin University of Technology カーティン工科大学	WA	Postgraduate Diploma in dietetics	1年	
3	Deakin University ディーキン大学	Vic	Master of Dietetics	18ヶ月	
4	Flinders University of South Australia フリンダース大学	SA	Master of Nutr & Dietetics	2年	
5			Bachelor of Nutr & Dietetics		4年
6	Griffith University グリフィス大学	Qld	Master of Nutr & Dietetics	18ヶ月	
7	Monash University モナッシュ大学	Vic	Bachelor of Nutr & Dietetics		4年
8	Queensland University of Technology クイーンズランド工科大学	Qld	Bachelor of Health Science (Nutr & Diet)		4年
9	The University of Newcastle ニューキャッスル大学	NSW	Bachelor of Health Science (Nutr & Dietetics)		4年
10	University of Sydney シドニー大学	NSW	Bachelor of Science (Nutr) Honours in Clinical Nutr & Dietetics		4年
11			Master of Nutr & Dietetics	2年	
12	University of Canberra キャンベラ大学	ACT	Graduate Diploma of Dietetics	1年	
13			Master of Nutr & Dietetics	2年	
14	University of Wollongong ウーロンゴン大学	NSW	Master of Science (Nutr & Dietetics)	2年	
15			Master of Nutr, Dietetics & Exercise Science	2年	
16			Bachelor of Nutr & Dietetics		4年



表3 栄養士養成コースにおける専門実務研修 (Professional Practice program)

最低 10 週	個別の栄養ケアをマネジメントする実務	このうち 4 週は 2 名以上の常勤栄養士が雇用されている病院 (臨床)
最低 4 週	地域や集団の健康・栄養活動	例) 地域ヘルスセンターの栄養部門、NGO、行政部門、食品企業
最低 4 週	フード・システム	例) 食品企業、フードサービス・マネジメント、子どもケアセンター、配食サービス、学校給食
2 週	学生の興味、能力により上記 3 領域あるいは企業や開業栄養士などの分野を選択	
計 20 週		

Where ADD members are employed as % of positions held

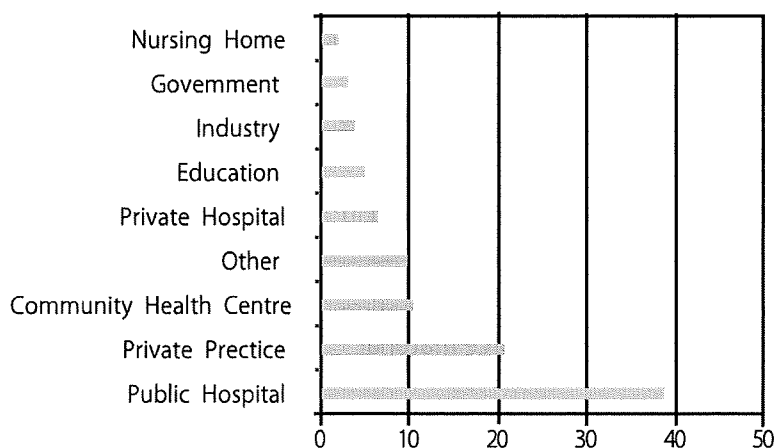


図1 DAA 会員が雇用されている職域とその人数

表4 栄養士エントリーレベル能力基準

(National Competency Standards for Entry-Level Dietitians) の要素

ユニット1 安全な実務を果たすのに十分な知識を証明する (9項目)  
 Demonstrates knowledge sufficient to ensure safe practice

Elements		
1.1	demonstrates a thorough knowledge of the theory of human nutrition and dietetics to a level which supports safe practice	安全な実務を行うための人間栄養・食事療法理論の詳細な知識
1.2	Demonstrates a broad and thorough knowledge of food use in Australia	オーストラリアの食品についての広範で詳細な知識
1.3	Demonstrates a thorough knowledge of food science as it related to nutrition and dietetics	栄養・食事療法 nutrition & dietetics に関連する食品科学の詳細な知識
1.4	Demonstrates a thorough knowledge of food service systems	フードサービスシステムの詳細な知識
1.5	Utilises the basic principles of education theory as it applies to dietetic practice	教育論の基本理念の利用と、食事療法への応用
1.6	Applies theories of communication to the practice of counselling	コミュニケーション論のカウンセリングへの応用
1.7	Demonstrates a basic knowledge of theories of organisation and management	組織論とマネジメント論の基本知識
1.8	Demonstrates a basic knowledge of the health promotion	健康増進の基本知識
1.9	Demonstrates a basic knowledge of nutrition research methodology	栄養調査法の基本知識

栄養に関する科学的知識と理念を実践的な情報に展開する (3項目)

ユニット2 Interprets and translates scientific knowledge and principles related to nutrition into practical information

Elements		
2.1	Utilises nutrition and health-related data and scientific literature in identifying nutrition problems in individuals and in the community	個人・コミュニティで栄養問題を確認するうえで、栄養・健康に関するデータおよび科学論文を利用する
2.2	Translates technical nutrition information into practical advice on food and eating	技術的な栄養情報を実践的な食品や食生活へのアドバイスに転換する
2.3	Develops education resource material	教育媒体・資源の開発

ユニット3 個別・集団の健康栄養状態に係るデータの収集、系統的に捉え、評価する (5項目)  
 Collects, organises and assesses data relating to the health and nutritional status of individuals groups

Elements		
3.1	Collects food intake data	食事摂取データの収集
3.2	Provides quantitative and qualitative assessment of food intake data	食事摂取データの収集量的・質的評価の提供
3.3	Collects biomedical social and environmental data	生化学、社会的、環境データの収集
3.4	Assesses and assigns priorities to all data	全データに優先順位を評価する
3.5	Draws justifiable conclusions from all data	全データから公正な結論をえる

ユニット4 個別の栄養ケアのマネジメント (6項目)  
 Manages nutrition care for individuals  
 Elements

4.1	Negotiates case management goals	ケースの全体のゴールを交渉する
4.2	Prepares plan for achieving management goals	全体ゴールを達成するためのプランを作成する
4.3	Counsels individuals and families on nutrition, food and diet issues	個人や家族に栄養・食品・食事の問題についてカウンセリングする
4.4	Plans and implements meal and food orders for individuals	個別の食事プランの実施
4.5	Monitors progress of the individual's condition and care and adapts plan as necessary	個別の状態やケアのモニタリング、必要に応じプランの修正
4.6	Documents all steps of the process	プロセスの全ステップを文書化する

ユニット5 地域における栄養問題にヘルスケアチームの一員として対処し、プログラム（事業）の要素をマネジメントする (5項目)  
 Manages components of programs which deal with nutrition issues in the community as part of a health care team  
 Elements

5.1	Determines goals for dealing with nutrition issues in the community	コミュニティにおいて取り扱う栄養課題のゴールを決定する
5.2	Develops plans for dealing with nutrition issues in the community	コミュニティにおいて取り扱う栄養課題のプランを開発する
5.3	Develops plans for group education session	グループ教育セッションのプランを開発する
5.4	Facilitates learning in small groups	小グループにおける学習のファシリテーターをする
5.5	Documents all steps of the process	プロセスの全ステップを文書化する

ユニット6 安全で栄養的な食糧供給の推進活動への寄与 (3項目)  
 Influences and contributes to activities promoting a safe and nutritious food supply  
 Elements

6.1	Acts as an advisor and advocates on behalf of individuals, groups and the profession to positively influence the wider political, social and commercial environment, about factors which affect eating behaviour and nutritional standards	個人、グループ、専門職の利益に関してアドバイザー・擁護者として行動する：食行動や栄養学的スタンダードに関わる広範に政治的、社会的、商業的な環境にポジティブに働きかける
6.2	Applies nutrition principles to food service	栄養学の原則を食品サービスへ応用する
6.3	Describes meal plans/menus for individuals and groups including the formulation and modification of suitable recipes and serving methods	適切なレシピやサービング法の公式化など、個人やグループ向けの食事プランやメニューの論述

ユニット7 調査・評価にかかる基本的スキルを証明する (3項目)  
 Demonstrates basic skills in research and evaluation

Elements		
7.1	Adopts a questioning and critical approach in all aspects of practice	全実務に批判的アプローチを導入する
7.2	Evaluates practice on an ongoing basis	進行中の実務を評価する
7.3	Applies research and evaluation findings	調査や評価を行う

ユニット8 職務に対する組織的、専門職的、倫理的アプローチの証明 (4項目)  
 Demonstrates an organised, professional and ethical approach to work

Elements		
8.1	Works effectively within the organization	組織内で効果的に働く
8.2	Develops and maintains a credible professional role by commitment to excellence of practice	優秀な実務の責務によって信頼ある専門性を維持・向上する
8.3	Applies quality management principles to all aspects of professional practice	専門的実務のすべてに質の管理を適応する
8.4	Demonstrates professional leadership to promote the contribution of nutrition and dietetics to health and disease	健康・疾患に対する栄養・食事療法の寄与を促進する専門的なリーダーシップを証明する

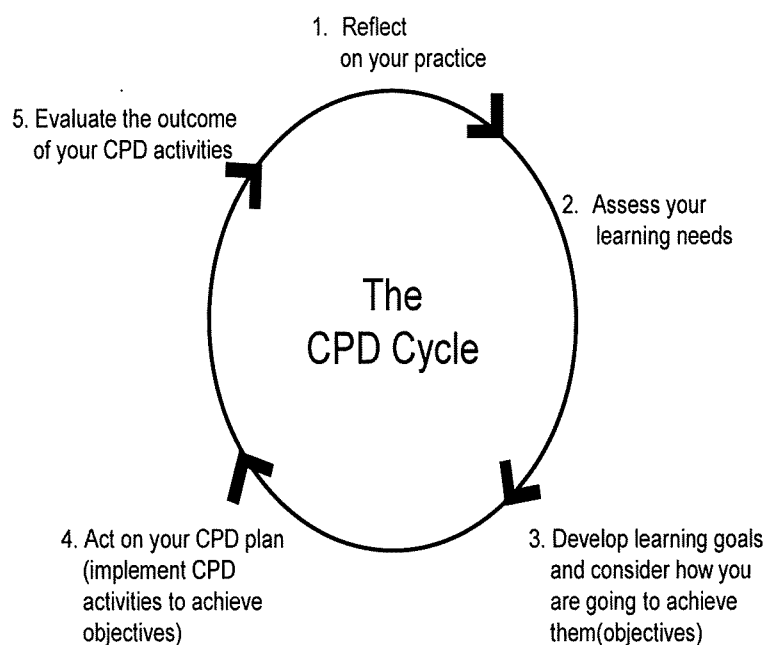


図2 CPD プログラムの手順